

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや
ちくさ

題字 黒野貞夫

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
会長 黒野貞夫
幹事 山本眞輔
会報委員長 秋山茂則

No. 25

行動に信念を 信念は行動に

BELIEVE IN WHAT YOU DO

DO WHAT YOU BELIEVE IN

1993~94年度 RI会長 ロバート・R・パース

第555回例会 平成6年1月18日(火)晴/曇

- ◇ “奉仕の理想”
- ◇ ビジター紹介 9名
- ◇ 出席報告
会員 67名 出席 54名
出席率 80.06%
前回 1月11日 (修正出席率) 100%
- ◇ お誕生日祝福
岡島君(1/17)、奥村夫人(1/21)、
柵木夫人(1/24)
- ◇ ニコボックス
西川 豊長君①西村様この度は誠にめでと
うございます。微力を尽くす所存であります
ので、宜しくお導きをお願いします。②水野
民也様誠にめでとございます。宜しくご
指導の程お願い申し上げます。
西尾 正己君、吉田 敬岳君 今年はじめ
です。よろしくをお願いします。
太田 茂君、笹野 義春君、早退します。
竹内 眞三君 1/11(火)の麻雀会で麻雀会
入会10年目にして初めて優勝できました。
山本 眞輔君 折り返し点を通過しました。
本年もよろしく。
岡島 常男君 誕生日祝い。
柵木 充明君、奥村登喜朗君 夫人誕生日祝
い。
菅原 宣彦君 結婚記念日祝い。

◇ 山本幹事報告

1. 本日例会終了後、IM運営委員会を開催
いたしますので担当者は琴の間にお集まり
ください。
2. 次回例会終了後、理事役員会を開催いた
しますので、理事役員の方はお残り下さい。

◇ 黒野会長挨拶

先週は柵木君と岡島君の2人の新入会員を
交えて楽しい新年例会でした。本日は9人の
お客様をおむかえて第555回の例会です。

実は10日切の雑誌(書芸公論)の原稿書
きが進まないで苦慮しているところへ西加
茂郡と豊田市の小中学生書初展審査会と日本
書芸院新年理事会(大阪)、日本教育書道大
学の講義(東京)そして昨日は大学の人事に
関する会議など忙しい中で遅れの原稿書きに
追われて昨日朝8割がたの原稿を送り、昨夜
遅くやっとすべてが完成しホッとしたところ
で会長挨拶も用意できませんでした。

日展東海展(愛知芸術文化センター・美術
館ギャラリー1/26~2/20)も間近になり
ました。日展の作品鑑賞のためのお話でもす
るとベストかもしれませんが、机辺にあった
水滴と印材と墨がありましたので鞆にほうり
込んで持って来ました。ご覧下さるならば幸
甚に存じます。

李朝の魚形水滴の二つです。本物のつもり
ですが珍品逸品のたぐいではないでしょう。
硯に水をそそぐ時の道具ですので、水がうま
くそそげるよう機能的であることが望ましい
のですが、垂れたりしてうまく行かないもの
の方が、眺めて楽しいものようです。次に
印材です。これは寿山石で、中でも王者
といわれる田黄といいますが、中国清代のはじ
め頃のもので装飾をほどこさないシンプル
な形をしたものです。

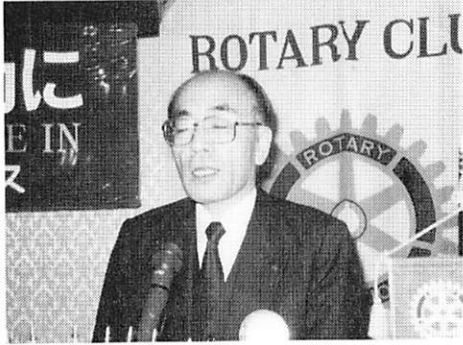
最後に墨です。角形棒状のものが一般的で
すが、美術品として鑑賞に供するものには円
形のほか様々な形や装飾をしたものもあります。

◇ 講演

“続 右と左”

会員 長門 保明君

昨年のお正月の初詣でに伊勢神宮に参拝した。
あそこでは内宮と外宮で参拝客の交通整理の
しかたが違う。内宮では宇治橋を渡ってから
再びそこへ帰ってくるまで右側通行である。



空中からヘリコプターで見ると時計の針とは逆回りである。空から見ると左回りといいたいところであるが、見られる立場、あるいは時計自身の立場にたってこれを右回りと呼ぶことにする。一方、外宮の方は一般道路と同じく左側通行で参拝客をさばっている。ご丁寧にも火除橋のところに左側通行と制札が立ててある。伺うところによると、これは陰陽思想により内宮すなわち天照大神は女性で陰であるから右旋、これに対して外宮は陽で左旋ということでそのようにしているということである。

毎週通っているフィットネスクラブのプールでは混雑時に泳いでいる人が正面衝突しないよう、時計の針と逆方向に泳ぐよう指導している。内宮や陸上競技場のトラック競技と同じ回り方である。

競馬場通いの経験がないので良くわからないが、TVの競馬中継でみると、陸上競技場の場合と逆に時計の針と同じ方向、すなわち左回り、外宮方式で回っている方が多いようである。何故か。

かつてジョギングを毎朝日課としていたころの経験でいうと時計と逆回りに走っているひとのほうが圧倒的に多かった。手と同じように足にも利き足があって右利き、左利きがあるのだろうか。

昨年末、東山動物園のコアラがオーストラリアへ里帰りした。日本生まれのコアラの目には南半球では太陽が西から上って東に沈むようにうつるだろうが、新しい環境にうまく適応してくれるだろうか、と動物園の飼育の責任者に尋ねてみたところ、コアラは夜行性の動物だから大丈夫でしょうという答えがえってきた。赤道をはさんで日時計の文字盤は右左逆であるが、動物の方向感覚にはすくなくともコアラについては関係ないらしい。

◇例会変更のお知らせ

名古屋栄RC 2/7(月)親睦家族会の為、
中日劇場にて11時30分より

◇ロータリー・プログラムの解説より

大豆：栄養不良と闘う実際の武器

ザンビアの貧しい地域のコパーベルトでは、5歳以下の子供の55パーセントが飢餓と栄養不良に苦しんでいると推測されます。解決策の一つとして大豆が考えられます。大豆は地元で栽培でき、蛋白質とビタミンの供給源として優れていて、費用もあまりかかりません。

しかし、問題があります。大豆は、これまで主として家畜の飼料でしたので、人間の食品に適していると人々に納得させる必要があります。従来の豆の調理方法は、いやなにおいがして、実質上とても食べることはできません。さらに、ほとんどの母親は、大豆の栄養価を理解していません。こうした障害を克服するために、ザンビアのルーアンシャ・ロータリー・クラブは、国際ボランティアと共に、一つのプロジェクを創案しました。これは、ロータリー財団から、保健、飢餓退放及び人間性尊重(3H)補助金を授与されました。

大豆栄養センターを4カ所に作り、そこで、大豆を配り、母親に栄養不良について教育し、調理方法を実演して見せました。さらに、子供たちの体重を測り、必要とされる治療やビタミン補給を行いました。

地域を教育するために、「大豆調理法」という料理の本を作成し、ザンビア中に、またアフリカのほかの地域に広く配布しました。ザンビア政府は、大豆に関する理解を深めるために、大豆の特別郵便切手をシリーズでつくりました。

ナミビア、ジンバブエ、タンザニア、マラウイ、南アフリカのロータリアンも、このプロジェクトに参加しました。ジンバブエのロータリアンは、「栽培できる金」というビデオを制作しました。プロジェクトに関するこのビデオは、全国的にテレビ放映されました。ロータリー・クラブは、プロジェクトに関して地元農民を教育し、地元地域で大豆を販売できると農民を納得させる役割を果たしました。

このプロジェクトは、コパーベルト地域の子供と大人の両方の健康を向上させるという成果を上げました。大豆に対する需要が増えましたので、雇用の機会が生まれ、地域に建設的な経済効果をもたらしました。

◇次回例会(1月25日)

講演「ロータリークラブと私」

会員 今西 功一君

◇次々回例会(2月1日)

節分会(松林寺にて18時より)